



リリースノート

初版 2025年7月3日

ご注意

- ・このリリースノートの著作権はダイキン工業株式会社が保有しています。
- ・このリリースノートの全部または一部を、ダイキン工業株式会社の書面による許可を得ることなく複写、複製、転用することはできません。
- ・このソフトウェアおよびリリースノートは、本製品の使用許諾契約書に基づいて使用することができます。
- ・本書の記載内容は予告なく変更することがあります。
- ・本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不明な点がございましたら、ご連絡くださいますようお願い致します。
- ・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。
- ・その他、リリースノートに記載されている会社名、製品名は、一般に各社の登録商標または商標です。

Copyright© 2025 DAIKIN INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

SYK-RLN-SiXV1210

FILDER SiX V1.2

■拡張項目一覧

「FILDER SiX」 V1.2 において以下の項目を拡張しました。

操作	SiX	SiX 電気
新設の「墨出し位置エクスポート」コマンドを利用することで、インサート位置やスリーブ位置、任意点の X, Y, Z 座標データを CSV ファイルに出力できるように拡張しました。 株式会社トプコン製スマートフォンアプリ「楽墨」で、当該 CSV ファイルをインポートすることができます。	○	○
配置済みの壁芯および梁芯の表示／非表示を切り替えられるように拡張しました。 また「躯体設定」画面に壁芯・梁芯の表示／非表示を切り替える設定項目を追加しました。この設定は作図中の壁・梁に対して有効です。 《重要》 「躯体設定」画面において、壁芯・梁芯の初期値は「非表示」です。既に作図済みの壁、梁の芯はそのまま残りますが、新しく壁・梁を作図する際には壁芯・梁芯が非表示になっています。表示したい場合は、「躯体設定」画面で設定を変更してください。	○	—

■処理方法変更項目

「FILDER SiX」 V1.2 において処理方法を変更した項目は次の通りです。

躯体	SiX	SiX 電気
壁・梁を対象に「包絡処理」コマンドを実行しても、壁芯・梁芯の表示は残るように変更しました。	○	—
「平行線」コマンドなどの基準線として仮補助線を選択できないように変更しました。	○	○
作図	SiX	SiX 電気
「機器ライブラリ」コマンドにおいて、D-Search からダウンロードした機器画像の背景を白に変更しました。	○	—
「機器ライブラリ取り込み」画面において、で「D-Search」をクリックした時に、一部セット型番の機器もページ表示できるように変更致しました。	○	—

■改善項目一覧

「FILDER SiX」 V1.010 から改善した項目は次の通りです。

操作	SiX	SiX 電気
「設定」画面の「線種」において、線種を作成する際「14 番」の列を選択し「この位置に作成」と、作成後に線種名称の変更ができない現象を改善しました。	○	○
「梁」コマンドにおいて、「鉄骨梁」にチェックが入っているのに「SRC 梁」が配置される現象を改善しました。	○	—
環境設定の内容によって一点鎖線の表示がおかしくなる現象を改善しました。	○	○
「壁」・「梁」コマンドにおいて、「連続指定」で作図した壁または梁を同図面内へ複写し図面を保存して開き直すと「芯」が消える現象を改善しました。	○	—

操作	SiX	SiX 電気
「芯ずれ」で作図した壁または梁を反転複写し図面を開き直すと芯ずれの方向が逆になる現象を改善しました。	○	—
〔柱〕コマンドにおいて、〔SRC 柱〕を選択した時、角柱 C 形鋼・丸柱 C 形鋼のプレビューが正しく表示されない現象を改善しました。	○	—
配置済の鉄骨梁をワープすると、梁せいの値が「300」になってしまう現象を改善しました。	○	—
複数図面で立面ビューポート編集時に図面の切替を行なうと強制終了する現象を改善しました。	○	○
複層階の 2 階へ傾斜梁を複写すると、梁天端(終端)の高さが正しい高さにならない現象を改善しました。	○	—
部品情報ツールチップ表示で通り芯の〔部品種類〕が「410」になる現象を改善しました。	○	○
図面ファイルを右クリックし、「プログラムから開く」で FOLDER SiX を選んでも起動できない現象を改善しました。	○	○
配管が接続された 2 台の空調機の高さを変更すると、指定した値の 2 倍の高さになる現象を改善しました。	○	—
立面ビューポート編集時に立面追加を起動し別ウィンドウの平面図で領域指示すると強制終了する現象を改善しました。	○	○
「コンクリート柱」を実行中に「鉄骨角柱」を起動すると配置が出来ずコマンドキャンセルされる現象を改善しました。	○	—
Windows11 にて FOLDER SiX を起動した時、「拾い」コマンドが実行できない現象を改善しました。	○	○
サイズ・系統記号一括付加コマンドで、一括で系統を配置したい配管を領域選択し確定すると FOLDER SiX が強制終了する現象を改善しました。	○	○
CeeD の環境設定ファイルを SiX で読み込むと、一部メニュータブが非表示になる現象を改善しました。	○	○
図形選択時、レイヤ制御状態による表示メッセージを改善しました。	○	○
機器に 3D 形状を登録し、基点を指示すると FOLDER SiX がフリーズ、または強制終了する現象を改善しました。	○	○
印刷設定ダイアログの「印刷スケール」について、「印刷領域指定」を選択し、「用紙に合わせる」設定で印刷プレビューを表示した場合、指示した印刷領域が印刷されない現象を改善しました。	○	○
寸法線、寸法文字が振り分けられるレイヤを編集不可にしている時に、配管コマンドなどで作図すると FOLDER SiX がフリーズしてしまう現象を改善しました。	○	○
ローカルで接続されているプリンタとネットワークで接続されているプリンタの両方を登録している場合、印刷設定ダイアログが表示されない現象を改善しました	○	○

FILDER SiX V1.0

■拡張項目一覧

「FILDER SiX」V1.0において以下の項目を拡張しました。

操作	SiX	SiX 電気
マウスカーソルの下にある部材情報をツールチップ表示できるように拡張しました。また、「設定」画面の「表示情報」で部材情報ツールチップ表示について設定できるようにしました。	○	○
「設定」画面でキーワード検索できるように拡張しました。	○	○
「設定」画面で「FILDER SiX」の環境設定ファイル以外に、「FILDER CeeD 環境設定ファイル(*.dcde)」を読み込めるように拡張しました。	○	○
平面図と立面図のそれぞれのウィンドウを別々のディスプレイに表示できるように拡張しました。	○	○
コマンド実行中に図形から仮補助線を表示できるようにしました。「設定」画面の「座標指示」の「座標アシスト」に「自動検出」および「仮補助線の自動表示」を追加しました。	○	○
垂線を作図しやすいように、座標アシストに「垂線」を拡張しました。	○	○
メッセージウィンドウを設けました。メッセージウィンドウはドッキング／フローティングできます。リボン「表示」－「メッセージ表示」チェックボックスで表示／非表示を切り替えることができます。	○	○
Web サイト上に操作マニュアルを新設しました。検索、印刷、お気に入り登録ができるようになりました。	○	○
作図	SiX	SiX 電気
複数の室内機と任意点や室外機を選択することで、空調冷媒配管やドレン配管を一括自動配置できるように拡張しました。この時、ドレン配管は自動でドレンアップされて配置されます。	○	－
作図中に配管およびダクトの長さや角度を寸法線で仮表示し、その仮表示中の寸法線を部品化できるようにしました。	○	－
選択した配管、ダクトおよび機器について、通り芯からの距離を表示できるようにしました。また、仮表示中の寸法線を部品化できるようにしました。	○	－
機器、器具を回転した時、接続されている配管を追従して伸縮するように拡張しました。	○	－
機器から別の配管に向かって枝管を作図する場合、機器の接続口の高さと配管の高さが異なる場合でも、プログラムが自動的に高さを調整して枝管を作図できるようにしました。また、その時機器の向きに合わせて配管が配置されるようにしました。	○	－
機器、器具を選択中にスペースキーを押下することで、接続点の情報を色別に表示できるようにしました。また色別表示中に接続点をクリックすることで、該当する用途の連続配管作図コマンドを起動できるようにしました。	○	－
冷媒管サイズ記号について、選択できる口径組合せを拡張しました。	○	－
電気	SiX	SiX 電気
電気シンボル同士を一括配線できるように拡張しました。リボン「電気」－「一括配線」コマンドから実行できます。	○	○
躯体	SiX	SiX 電気
鉄骨柱として角形鋼管を配置できるように拡張しました。	○	－
H 形鋼鉄骨梁を傾斜させて配置できるようにしました。3D ビューにも表示されるようにしました。	○	－
壁芯と梁芯を表示するように拡張しました。また、「躯体設定」画面で壁芯と梁芯の色、ペン番号、線種を	○	－

設定できるように拡張しました。		
梁を配置する際に垂直ハンチ無しの場合は高さ、長さの数値が画面上で無効になるようにしました。	○	—
柱を配置する際の指示方法として「1 点指示」「範囲指定」を新設しました。壁、梁を配置する際の指定方法として「2 点指示」「連続指定」を新設しました。	○	—
柱・梁・壁を配置する際に確定前に仮表示するようにしました。	○	—
柱・梁・壁を配置する際のコマンドプロパティ画面上で配置高さ基準を簡単に確認できるよう、画面上に FL・SL・GL を表記するようにしました。またインフォメーションアイコンをクリックすることで高さ基準の凡例図を表示できるようにしました。	○	—
柱の通り芯と梁の通り芯が交わってなくても水平ハンチを作図できるよう、柱の面と梁の面に対して水平ハンチを作図できるようにしました。	○	—
垂直ハンチと垂直ドロップの長さを省略していたら梁せいが入力されていたとしても当該梁せいを無視して梁を配置できるようにしました。	○	—
各種コマンドプロパティ内に表示されているインフォメーションアイコンをホバーすることで説明を表示できるようにしました。また、同アイコンをクリックすることで建築躯体 凡例図を表示できるようにしました。	○	—
作図した壁、梁において、壁芯、梁芯の表示／非表示を切り替えられるようになりました。また、躯体設定に作図時の壁芯・梁芯の表示／非表示を切り替える設定項目を追加しました。	○	—
IFC ファイル	SiX	SiX 電気
設備 IFC2.0、設備 IFC2.1 形式ファイルの読み書きができるように拡張しました。	○	○
3D ビュー	SiX	SiX 電気
3D ビューから直接印刷できる機能を拡張しました。	○	○
3D ビューに新設した設定画面上で表示切替および透過設定を一括で行えるようにしました。	○	○

■部材形状追加・変更項目

「FILDER SiX V1.0」で対応している部材形状は次の通りです。

部材追加	SiX	SiX 電気
ダイキン STEM データは 2024 年 10 月版です。	○	○
TOTO/LIXIL の機器を追加しました。	○	—
ドレン管としてドレンホースを追加しました。	○	—

■処理方法変更項目

「FILDER CeeD」 V5.010 から処理方法を変更した項目は次の通りです。

印刷	SiX	SiX 電気
「印刷プレビュー」画面を表示した状態で、「バルーン表示設定」画面および「ヘッダーとフッター設定」画面を表示し、印刷条件を設定できるように変更しました。	○	○
設定	SiX	SiX 電気
「DWG/DXF 設定」画面、「JWW 設定」画面、「SXF 設定」画面を設定画面に統一しました。	○	○
「設定」画面の「その他」から表示される「入力支援設定」について、設定できる項目を増やし、Shift キーに対応しました。また、「クリア」ボタンを追加しました。	○	○
「設定」画面の「その他」から表示される「入力支援設定」の操作について、指示したい点付近でキーを押下することで、一度入力したら（一つの入力支援モードを一回実行したら）当該入力支援モードは終了とするように変更しました。	○	○
スタートメニュー「起動設定」の「強調色設定」ダイアログで設定する No6 の色をシアンより緑に変更しました。	○	○
電気	SiX	SiX 電気
パナソニック照明「配置」コマンドを起動した際の「配置モード」の初期値を「単独」に変更しました。	○	○
躯体	SiX	SiX 電気
通り芯を移動する際に、通り芯上に配置した柱・梁・壁は移動しないように改良しました。	○	○
「躯体高さ設定」画面のレイアウトを変更し、「立面・3D に反映」のための指定を削除しました。「躯体高さ設定」で設定した内容は必ず立面図および 3D に反映されます。また、インフォメーションアイコンにマウスカーソルを載せると各項目の説明が表示されるように改良しました。	○	○
「躯体高さ設定」画面で設定する「床高さ」「床厚」「床スラブ高さ」のデフォルト値を 0.00mm とし、「床スラブ厚」のデフォルト値を 150.00mm に変更しました。	○	○
★重要★「部分躯体高さ設定」画面を廃止しました。「FILDER CeeD」以前で部分躯体高さ設定で指定した床、天井データは読み込み可能ですが、「FILDER SiX」で新たに部分躯体高さ設定を指定することはできません。	○	○
★重要★「FILDER CeeD」以前で作成した図面ファイルに旧建築躯体データが存在する場合、「FILDER SiX」で当該データを開くと旧建築躯体データは建築躯体データに自動変換されます。「FILDER SiX」で「FILDER CeeD」形式データに保存した際には建築躯体データとなり、 <u>旧建築躯体データには戻せませんのでご注意ください。</u>	○	○

■改善項目一覧

「FILDER CeeD」 V5.010 から改善した項目は次の通りです。

ダクト	SiX	SiX 電気
フレキシダクトが複雑な形状になるときれいに塗りつぶされない場合がある現象を改善しました。	○	—
「ハッチング・塗りつぶし・保温設定」画面で保温ありとしてフレキシダクトを作図すると線種が正しく反映されない場合がある現象を改善しました。	○	—
「ハッチング・塗りつぶし・保温設定」画面で保温ありとしてフレキシダクトを作図するとフレキシダクトが表示されない場合がある現象を改善しました。	○	—
「設定」画面において「機器の高さを無視して接続する」を指定した状態で配管を配置する際に、立面図では機器の接続点からずれる場合がある現象を改善しました。	○	—
全熱交換機に丸ダクトを接続した状態で立面図を表示すると機器が逆さまになる場合がある現象を改善しました。	○	—
ダクトの「エルボ」コマンドにおいて、角ダクト・丸ダクトの 90 度以外のエルボを配置するときに仮表示位置がずれる場合がある現象を改善しました。	○	—
ダクト高さ変更ができない経路がある場合の現象を改善しました。	○	—
勾配	SiX	SiX 電気
主管から 45 度エルボを使って高さ違いの配管を取出しているようなルートの勾配を解除すると勾配付加前の高さに戻らない現象を改善しました。	○	—
雨マスを挿入した状態で勾配付加すると、雨マスが反転してしまう現象を改善しました。	○	—
特定向きの子ースが存在する配管の勾配を解除すると、正常に勾配が解除されない現象を改善しました。	○	—
ブッシングを配置した配管に勾配付加すると、ブッシングが回転してしまう現象を改善しました。	○	—
偏芯ソケットを使用している配管に勾配付加すると、接続が切れたり逆勾配になったりする現象を改善しました。	○	—
躯体	SiX	SiX 電気
通り芯を作図する際に少し傾いて作図される場合がある障害を改善しました。	○	○
「階作成・編集」ダイアログでデフォルト登録実行時、「床スラブ厚」が「床スラブ高さ」に反映されてしまう現象を改善しました。	○	○
立面	SiX	SiX 電気
ハッチングと保温にチェックが入った状態の自由な曲がりがある配管を立面図表示すると、ハッチングの斜線が配管から飛び出してしまう場合がある障害を修正しました。	○	○
ファイル読み込み／ファイル書き出し	SiX	SiX 電気
ビューポートのビュー方向ベクトルがゼロの場合にビューポートが読み込まれない場合がある現象を改善しました。	○	○
OLE オブジェクトが存在する図面が開けない現象を改善しました。なお、OLE オブジェクトは表示できないため読み飛ばされます。	○	○

IFC ファイル読み込み時において、接続点が 1 か所であるにもかかわらず存在しない 2 点目の接続点にダクト直管がつながっているデータであると、読み込み処理を中断していましたが、エラーメッセージを表示して読み込み処理を継続するように改善しました。	○	○
IFC ファイル読み込み時において、貫通スリーブがあると配管をどの部品に変換するかを定義している配管部品テーブルを読み込まないため、配管部品が FINDER CeeD の部品に変換できない現象を改善しました。	○	○
IFC ファイル読み込み時において、IFC データのヘッダー部分の「ファイル名」内の「author（著者）」と「organization（組織）」の省略の仕方が間違っているとデータが読めない場合がある障害を修正しました。	○	○
IFC ファイル読み込み時において、頂点数が一定数より多く定義されている部材が読み込めなかった現象を改善しました。	○	○
IFC ファイル読み込み時において、IFC のボックスが部材として読み込めなかった現象を改善しました。	○	○
IFC ファイル読み込み時において、IFC のポリプデン管継手が部材として読み込めなかった現象を改善しました。	○	○
IFC ファイル読み込み時において、IFC の照明器具の 3D 形状向きが正しく読み込めなかった現象を改善しました。	○	○
IFC ファイル読み込み時において、IFC の空調機とドレン管、冷媒管の接続が切れてしまう場合がある現象を改善しました。	○	○
IFC ファイル書出し時において、IFC 制御ボックス VAV、CAV サイズが出力されない現象を改善しました。	○	○
IFC ファイル書出し時において、部材情報の一部の文字が文字化けする現象を改善しました。	○	○

以上